

掲載しているイベント・休館日等の情報は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等に応じて、中止または変更になる場合があります。最新の情報は、図書館ホームページにて掲載しています。

# 令和元年度 図書館貸出ランキング

## 図書部

- 1位 「そして、バトンは渡された」 瀬尾まいこ／著 56回
- 2位 「沈黙のパレード」 東野圭吾／著 47回
- 3位 「蜜蜂と遠雷」 恩田陸／著 42回

## DVD部

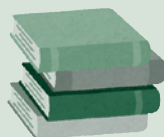
- 1位 「ふるさと石岡映像コンテスト」 34回
- 2位 「ミッキーマウスクラブハウス」 22回
- 2位 「アラジン」 22回
- 2位 「モアナと伝説の海」 22回

## CD部

- 1位 「ボヘミアン・ラブソディ」 クイーン 21回
- 2位 「BOOTLEG」 米津玄師 20回
- 3位 「POP VIRUS」 星野源 19回

### 番外編

この1年間にいちばん多く  
本を借りた人の貸出冊数は **648冊!**



## としょかん豆知識

### ビブリオバトル

お気に入りの本を紹介しあうゲームで、「知的書評合戦」ともいわれています。

ルールは簡単!

- ①お気に入りの本を持ち寄る
- ②5分間で発表
- ③質疑応答
- ④それぞれ読みたくなった本を投票し「チャンプ本」を決める

〈本を通して人を知る〉、〈人を通して本を知る〉ことができます。



▲昨年11月に行われた中央図書館創立130周年記念式典でのビブリオバトルの様子

### 5月の休館日

1日(金)～7日(木)、11日(月)、18日(月)、25日(月)、28日(木)



**今** 回紹介するのは『日用惣菜俎席包丁(にちようそうざいまなきたふじのちんきやくそくせきほうちょう)』という江戸時代の料理本です。この資料は平成25年度に寄贈されたもの

## 時の記憶 シリーズ175

### 江戸時代の料理本

岡文化振興課(支所)  
Tel 43-1111 (内線 1323)

ので、瓦会地区のお宅で使用されてきました。現代では各出版社から様々な料理本が出されていますが、料理本文化の発展は江戸時代に見られます。戦が遠くなったことで庶民の生活が安定し徐々に余裕が出てくると、人々は食を楽しむようになり豪華料理や珍味を紹介するものや日常の献立作りを助けるレシピ本など様々な料理本が出版されるようになりました。

日用惣菜俎不時珍客即席包丁は、「日用」「即席」とあるように、日常の中で手軽に作れるおもてなし料理、正月や雛祭りなど時期ごとに紹介されています。現代でも簡単おもてなし料理を紹介するレシピ本は便利で重宝しますが、江戸時代の人々も同様であったことがわかります。

寄贈された資料は実際に使用されていたものであり、当時の生活を教えてください。一点一点はささやかな資料ですが、実は身近な歴史を教えてくださいるとても貴重な資料なのです。

俳句

いしおか俳句同好会

総社 一色しのぶ  
胸奥にまだある炎月おぼろ  
若宮 今川 武男  
空高く鳶が舞ひをり日脚伸ぶ  
東光台 野村 洋子  
花明り残り時間を躓かず  
石岡 前川 豊美  
花冷や喜寿の免許更新日  
総社 山口美津子  
健在な父は白寿の臥竜梅



短歌

石岡短歌同好会

南台 田村 満佐  
いざいざオリムピックに向かへし  
になにゆえはばむコロナウイルス  
東大橋 醍醐 正夫  
梅干しの難を逃れることわざ  
に我は一粒朝の茶漬けで  
高浜 大嶋 全江  
雪催ひにがり湯えらぶ金曜日  
満タンにして笑顔をまてり

俚謡(都々逸)

石岡俚謡会

貝地 前島くに子  
梅の老木 季節を待つて  
やがて目をひく 花が咲く  
若松 川崎 洋子  
遠く田畑で 耕す農夫  
何を蒔くのか 春霞  
東大橋 醍醐 正夫  
梅よ花咲け 合格祈願  
絵馬に願いの 受験生  
山崎 若色 茂  
井戸の脇には 白梅咲いて  
祖母が米研ぎ してた春

鹿の子 田村こまくさ  
今年暖冬 蠟梅咲けば  
梅は紅白 咲き競う  
川又 前島 節子  
梅の香りに 背すじも伸びて  
春の光を 浴びている  
細谷 高橋 真希  
箸が転がる だけでも楽し  
そんな仲間と ゆず梅酒  
東光台 福田 泰夫  
届く絵手紙 頑張れ添えて  
描く紅梅 凜と咲く  
総社 暁 夢華  
梅に先がけ 蠟梅咲いて  
香り清しい 春立つ日

川柳

いしおか川柳会

総社 小林 凧  
諦めは最後でいいと夢を追う  
国府 小松崎 一枝  
鬼と福ずつと私の同居人  
青田 桜井紀美子  
山路行く緑に抱かれ深呼吸

投稿作品

山崎 鈴木 君江  
せせらぎの清やかにありて菜  
の花の笑顔に語る散歩の道辺  
山崎 荒井 幸子  
あれこれと自粛の多き春なれ  
どき庭彩る花に安らぐ  
石岡 赤津 貞行  
母くれし一葉持つて県庁へ娘  
とコーヒー飲む曇の上  
柴内 羽生 俊  
桜咲きコロナウイルス県内も  
老いは虫かけぬ若者忠告



第20回  
石岡短歌同好会

文化協会だより

1. 石岡市文化祭短歌大会を開催

日時 例年、10月に開催  
場所 石岡市国府地区公民館  
詠草 未発表一首

2. 毎月の定例会

各自一首をあらかじめ提出し、プリントして相互に批評します。  
例年、5月と1月は山口恵子先生の指導を受けています。(予定)  
日時 毎月第三水曜日 午後1時(予定)  
場所 石岡市国府地区公民館

3. 毎月、市報「文芸いしおか」に掲載

会員が詠んだ短歌の中から、選定し、市報「文芸いしおか」に掲載しています。現在、会員募集中です。ご入会お待ちしております。  
年会費 6,000円  
会員数 12人  
石岡短歌同好会  
会長 内田千代子  
Tel 26-3074